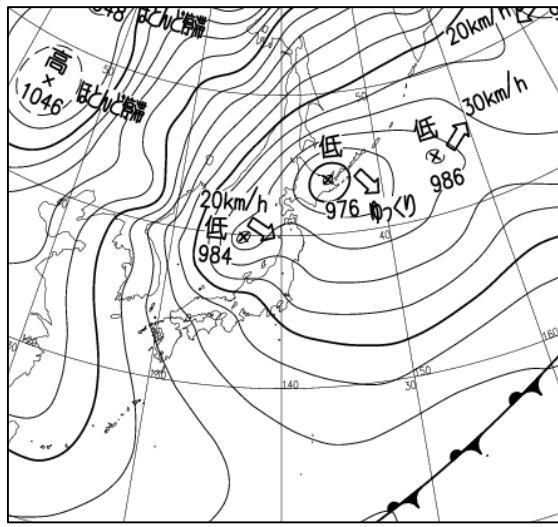
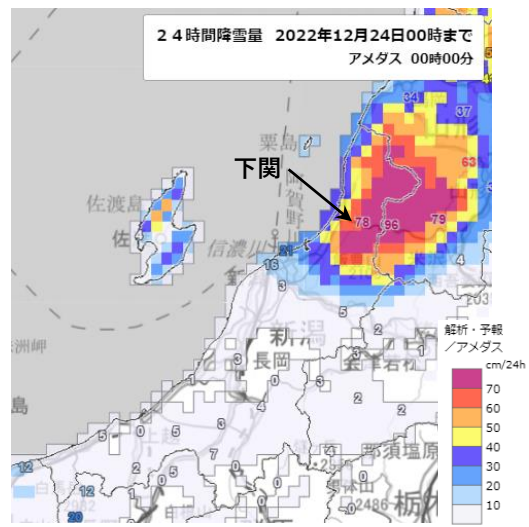


日本海の低気圧に伴う強風と大雪 倒木による孤立集落や停電も

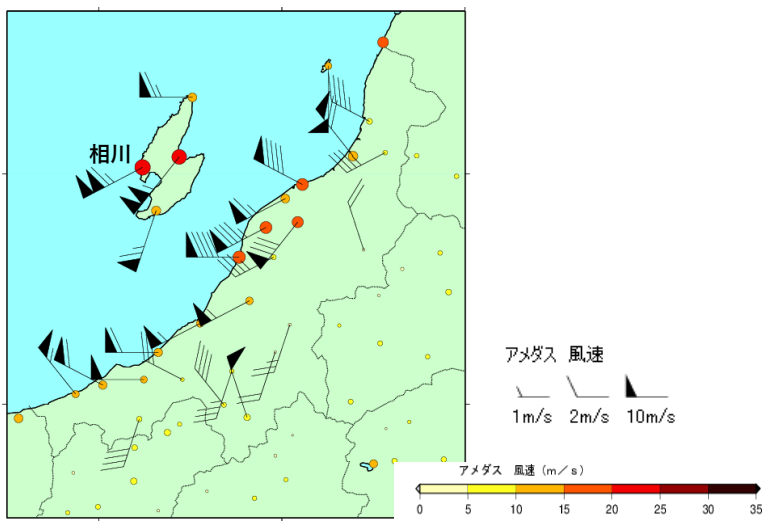
**【概要】**  
 令和4（2022）年12月23日は、上空約5,000メートルに氷点下39度以下の強い寒気を伴った低気圧が発達しながら日本海を東南東に進んだため、新潟県では海上を中心に雪を伴った非常に強い風が吹き、海は大しけとなった。また、低気圧を回る西風により発達した雪雲が流れ込み続けた下越では記録的な大雪となった。23日には、佐渡市相川で最大風速22.7メートル（最大瞬間風速29.6メートル）の非常に強い風を観測するなど各地で強風が吹き、また、関川村下関では23日の積雪差日合計が78センチを観測し観測史上1位の記録を更新した。なお、低気圧が日本の東に進んだ24日から25日は冬型の気圧配置となり、中越の山沿いを中心に大雪となった。村上市では大雪や着雪の影響で、倒木による道路の通行止めのため孤立集落が生じたほか停電が発生した。また、県内では、高速道路の通行止め、鉄道の運休・遅延、佐渡汽船の欠航などの交通障害も発生した。（被害状況は新潟県資料、各機関公表資料を参考に新潟地方気象台にて記述）



地上天気図 (12月23日21時)



12月24日0時の前24時間降雪量 (地図: 地理院タイル)



12月23日から24日の期間最大風速